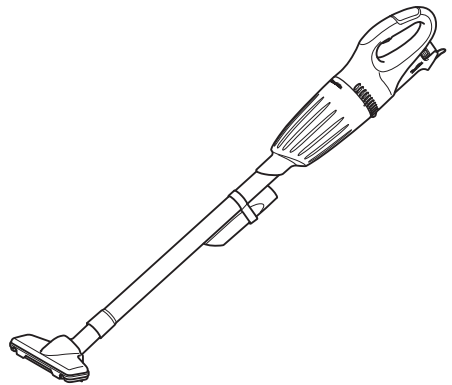


Makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル CL070D



このたびは充電式クリーナをお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次




・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 各部の名称および標準付属品	10
・ 別販売品のご紹介	12
・ 使い方	13
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	13
・ バッテリーについて	15
・ バッテリーの充電方法	15
・ 充電表示ライトについて	16
・ バッテリーを長持ちさせるには	18
・ バッテリーの回収について	18
・ 充電器の点検・修理・保管について	18
・ スイッチの操作	19
・ 標準付属品の使い方	20
・ ノズル	20
・ ノズル＋ストレートパイプ	20
・ サッシ（すきま）ノズル	21
・ サッシ（すきま）ノズル＋ストレートパイプ	21
・ ゴミの捨て方	21
・ 組み立て方	23
・ 保守・点検について	26
・ 保管方法について	26
・ お手入れは	26
・ 修理について	27
・ 修理を依頼される前に	27
・ マキタ充電式クリーナ保証書	28

主要機能

主要機能	モデル	CL070D
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		バッテリー BL0715 (容量 1.5 Ah)
電圧		直流 7.2 V
連続使用時間		約 12 分
集じん容量		600 mL
本機寸法		長さ 454 mm × 幅 103 mm × 高さ 142 mm (ストレートパイプ及びノズル取り付け時の長さ 966 mm)
質量		0.82 kg (バッテリー BL0715 付、ノズル、ストレートパイプなし)
充電器		DC07SB
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		43 W
出力電圧		直流 7.2 V
出力電流		直流 3.6 A

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

- ・ 水洗いや風呂場での使用は絶対しない。



・ 感電する場合があります。



- ・ 絶対に分解したり修理・改造しない。



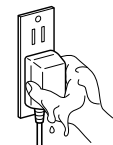
・ 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- ・ お手入れ・点検の際は、充電器を電源コンセントから抜く。また、雨中で充電したり、ぬれた手で抜き差ししない。



・ 感電やけがをすることがあります。



- ・ 専用の充電器以外は使用しない。



・ バッテリーの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
・ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- ・ 交流 100 V で充電する。



・ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

- ・ バッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしない。



- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
- ・ 雨や水に濡らさないでください。
- ・ 分解、改造はしないでください。
- ・ 温度が 10℃未満、あるいは温度が 40℃以上では充電しないでください。
- ・ 換気の良い場所で充電してください。
- ・ バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わないでください。
- ・ 火中に投入しないでください。
- ・ 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。
- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

⚠ 警告

- ・ バッテリーの液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗った後、医師の治療を受ける。



- ・ 失明の恐れがあります。

- ・ 子供に本機や充電器で遊ばせない。



- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- ・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となります。



- ・ セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の粉じんや、コンクリート粉などの粉じん。
- ・ 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など。タバコ、マッチ、熱い灰など火のついているものや、煙の出ているもの、および高熱のもの。
- ・ 木片、金属、石および釘、ガラス、カミソリ、押しピンなどの鋭利なもの。
- ・ 水・湿ったゴミなど。

- ・ 使用中、本機の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。



- ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- ・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。



- ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- ・ 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。



⚠ 警告

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリーや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。



- 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。
 - 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



- マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しない。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しない。



- 本機の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあるため、漏れ出た液体に不用意に触れない。



- 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。



- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 本機の吸込口や排出口には手を入れない。



- けがの原因になります。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。



- 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

⚠ 注意

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。



- 爆発や火災の原因になります。



- 火気に近づけない。



- 本機の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 排気口をふさがない。
- 火災の原因になります。



- 吸引口をふさいで長時間運転しない。



- 過熱による本機の変形、発火の原因になります。



- 充電器のコードが傷んだり、電源コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



- 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 温度が 50℃を超える可能性のある場所（炎天下の車内、火気や暖房器のそば）に保管しない。



- 本機の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。



- 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源コンセントを抜いて充電を中止する。



- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。



- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。



- 確実にしないと、はずれたりして、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ・ 高所で使用するときには、本機を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本機のハンドルを持って運ぶ。



- ・ 本機などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

- ・ 充電式クリーナは、手入れをする。



- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- ・ 使用しない場合は、きちんと保管する。



- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- ・ バッテリーを、周囲温度が 50 ℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

- ・ フィルタを正しく取り付ける。



- ・ フィルタを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

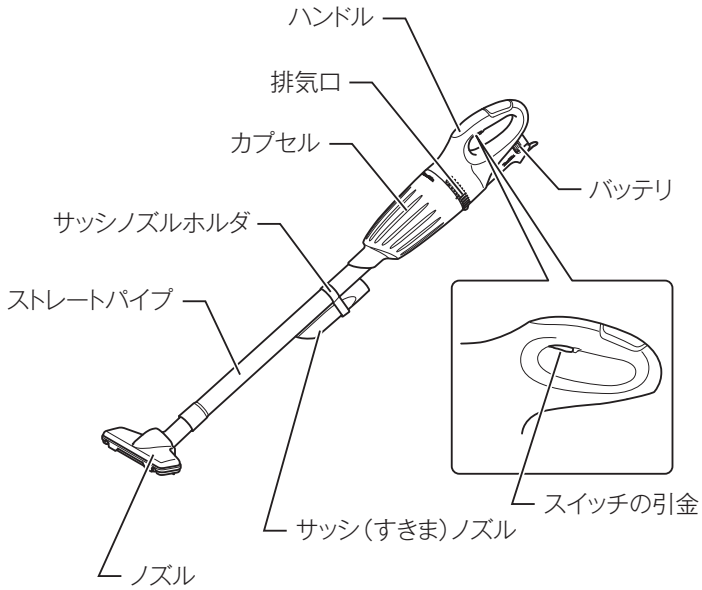
注

- ・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm ²	30 m

各部の名称および標準付属品



各部の名称および標準付属品

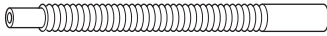
製品の組み合わせ及び標準付属品

標準付属品 \ モデル	CL070DZ	CL070DSH
バッテリー (容量)	×	○ バッテリー BL0715 (容量 1.5 Ah)
充電器 (充電時間)	×	○ DC07SB (約 30 分)
ノズル (部品番号:123485-4)	○	○
ストレートパイプ (部品番号:451424-7)	○	○
サッシ(すきま)ノズル (部品番号:416041-0)	○	○
サッシノズルホルダ (部品番号:416043-6)	○	○

別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

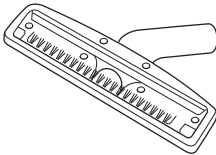
- フレキシブルホース
部品番号：A-37568



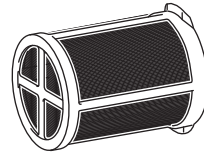
- フィルタ
部品番号：A-43963



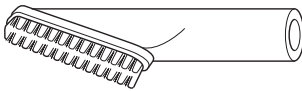
- じゅうたん用ノズル
部品番号：A-37546



- プレフィルタ
部品番号：A-50463

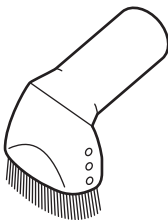


- 棚ブラシ
部品番号：A-37552



- バッテリー BL0715 (容量 1.5 Ah)
部品番号：A-61254

- ラウンドブラシ
部品番号：A-37471

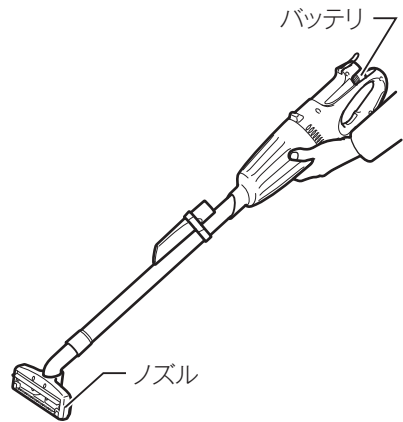


- 伸縮パイプ
パイプ長さ調整：500 ~ 800 mm
※ホワイト色になります。
部品番号：123584-2

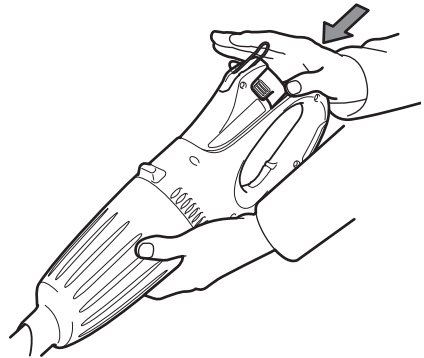
使い方

バッテリーの取り付け・取りはずし方 取りはずし方

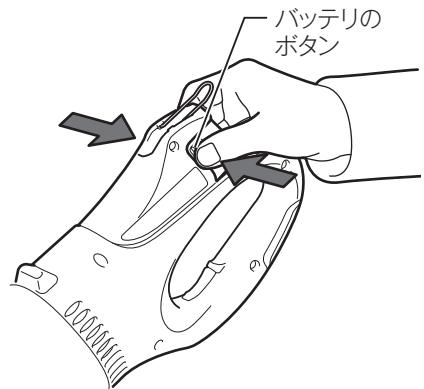
1. 図のように本機を裏返し、バッテリー部を上に向けます。このときノズルを床に着け、もう片方の手で下からしっかり支えます。



2. 図の部分に手のひらを密着させます。

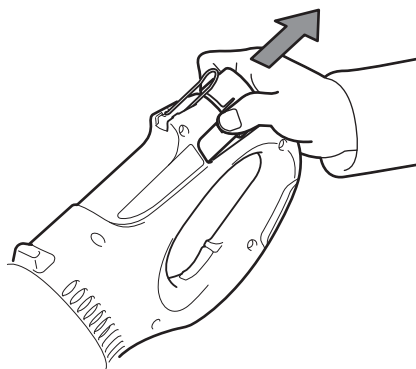


3. 手のひらを密着させたまま、バッテリーのボタンを親指と人差し指でつかみます。



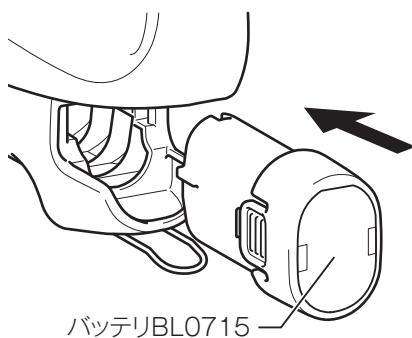
使い方

4. 手のひらを支えにして矢印の方向に引き抜きます。



取り付け方

- ・ 本機に対してバッテリーを図のような向きにして、奥まで確実に挿入します。



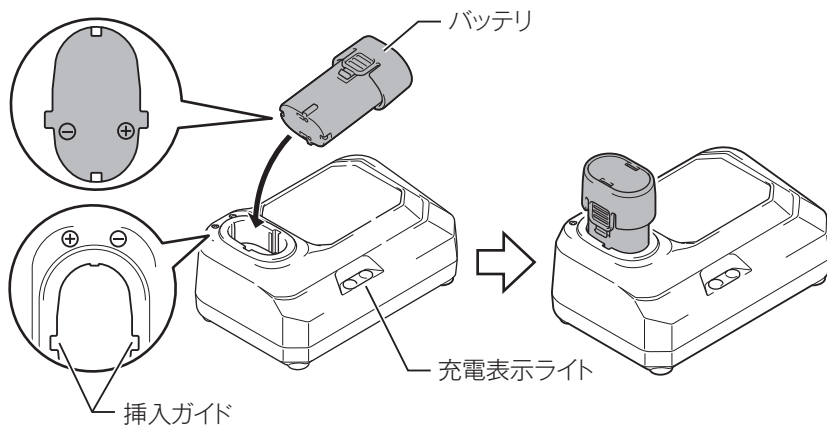
使い方

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。）ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを ⊕ ⊖ に注意して、充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。
4. 充電が完了すると、充電表示ライトが「緑」の点灯に変わります。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。





使い方

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示	 点灯  点滅	表示内容
		充電前「緑」点滅 電源に差し込んだ状態です。
		充電中「赤」点灯 バッテリー容量 約0~80%を示します。
		80%充電「赤・緑」点灯 バッテリー容量 約80~100%を示します。 (80%充電表示は、おおよその目安です。 バッテリーの温度・状態により変動します。)
		充電完了「緑」点灯
		待機「赤」点滅 バッテリー・充電器が充電可能な温度状態 になった後、自動的に充電開始します。

(異常時のライト表示および表示内容)

		充電不可「赤・緑」交互点滅 バッテリーの寿命、またはゴミづまりで充電 できません。
---	---	---

使い方

注

- DC07SB はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと、充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- 充電前にバッテリーを十分冷やすことをおすすめします。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 充電時間は周囲温度やバッテリーの状態により長くなることがあります。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、4 時間以上たっても充電が完了しない。(表示ライトが「緑」に変わらない。)

使い方

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は 10℃～40℃の範囲で行なってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、冷やしてから充電してください。
- ・ リチウムイオンバッテリーは長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、充電して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

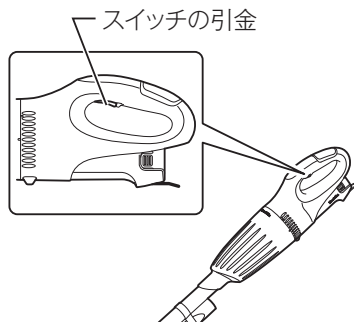
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

本機の排気口に髪、マフラーやショールの端などを近づけないでください。

- ・ 本機内部の回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。



- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。



注

- ・ ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

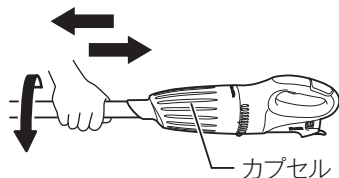
使い方

標準付属品の使い方

⚠ 注意

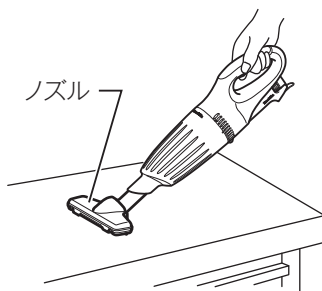
ノズル等の標準付属品は使用中に抜けないように、矢印方向にねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。取りはずす場合も矢印方向にねじりながら取りはずしてください。

反対方向へ回して取り付け取りはずしをしますとカプセルが緩むことがありますのでご注意ください。



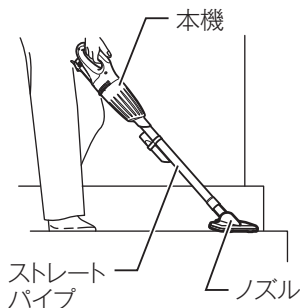
ノズル

- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



ノズル + ストレートパイプ

- ・ たたみ・じゅうたん・床など低い所を掃除されるときは、本機とノズルの間にストレートパイプを差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



使い方

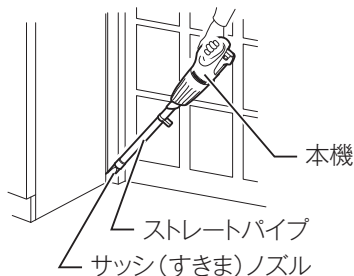
サッシ（すきま）ノズル

- ・ 自動車の中や家具のすきまおよびサッシの溝などを掃除される時は、サッシ（すきま）ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



サッシ（すきま）ノズル＋ストレートパイプ

- ・ 家具の奥など本機が当たって入らないときや高い所のすきまなどを掃除される時は、サッシ（すきま）ノズルと本機の間にはストレートパイプを差し込んで、ご使用ください。

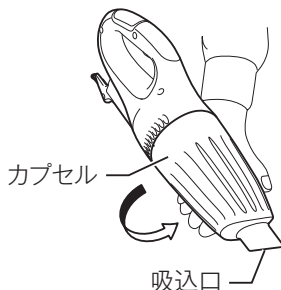


ゴミの捨て方

- ・ フィルタに付着したゴミを落とすため、カプセルを手で4～5回軽くたたいてください。



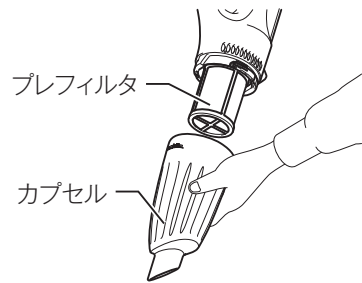
- ・ 吸込口を下に向けて図の矢印方向にまわし、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。



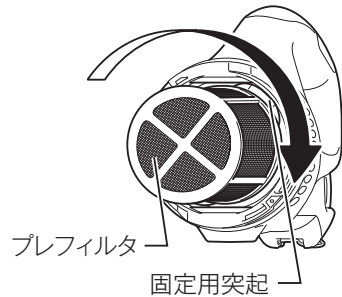
使い方

注

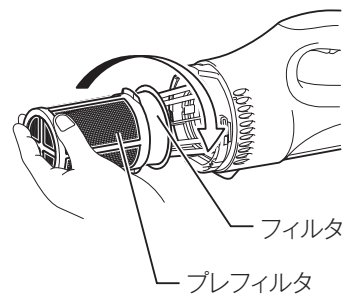
- ・ カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下において行ってください。
- ・ カプセル内のゴミとプレフィルタに付着したゴミを落としてください。



- ・ プレフィルタを矢印の方向に回して、本機から固定用突起をはずしてから手前に引き抜きます。



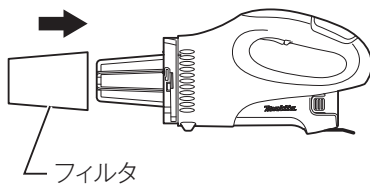
- ・ 中の細かいゴミを捨て、次にフィルタを取り出し軽くたたきゴミを振り落としてください。



使い方

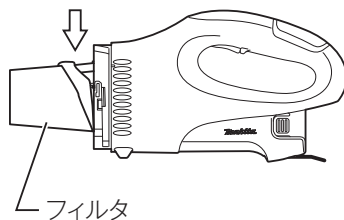
組み立て方

- ・ フィルタを本機の奥までしっかりかぶせます。

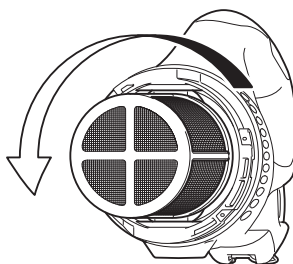
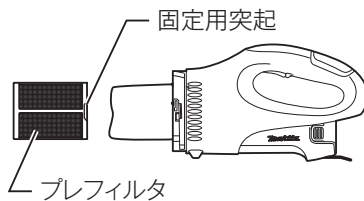


注

- ・ フィルタは図のようにめくれないようにかぶせてください。正しくかぶせていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

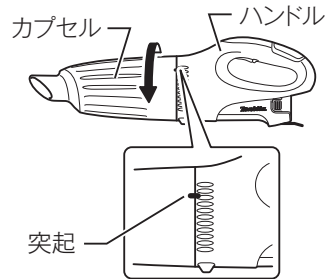
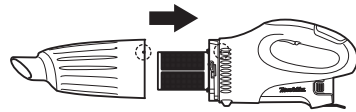


- ・ プレフィルタを取り付けます。このとき、プレフィルタを回して固定用突起を本機にしっかりはめてください。



使い方

- カプセルを取り付けます。カプセルの突起とハンドル側の突起を合わせてから矢印方向に奥までしっかり回します。



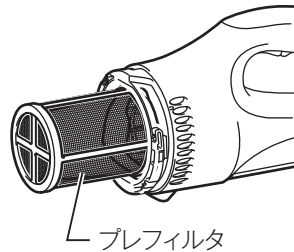
注

- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。
次の例に該当する場合はフィルタ、プレフィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。

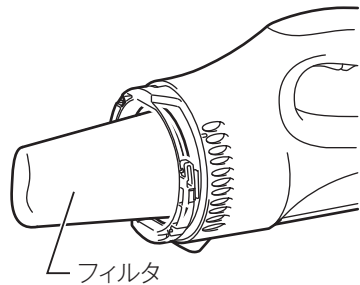
使い方

悪い例

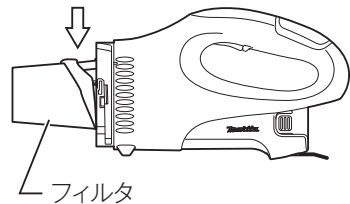
例 1) フィルタを入れずにプレフィルタのみが入っている場合



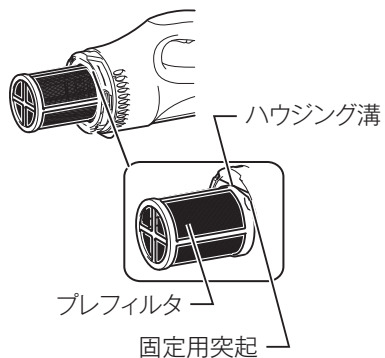
例 2) プレフィルタを入れずにフィルタのみが入っている場合



例 3) フィルタがめくれた状態で入っている場合



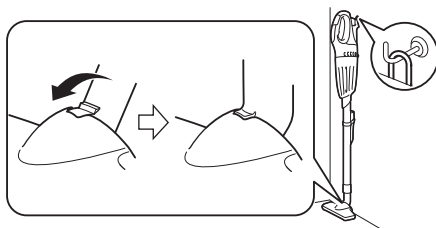
例 4) プレフィルタの固定用突起がハウジング溝にしっかり入っていない場合



保守・点検について

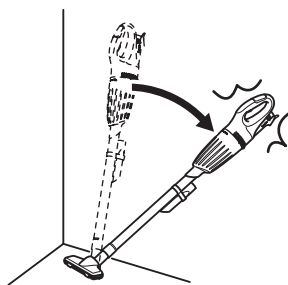
保管方法について

- ・ 保管するときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、本機裏側のハンガーをおこし、市販のフックなどに引っ掛けてください。



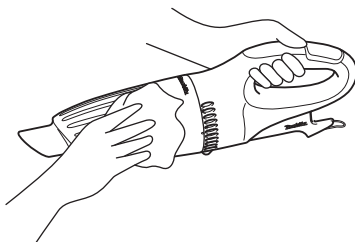
注

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障する恐れがあります。



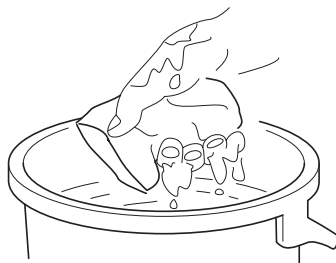
お手入れは

- ・ 本機の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。



注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ フィルタは時々薄めた中性洗剤でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸塵力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。



修理について

修理を依頼される前に

症状	調べるところ	直しかた
吸込力が弱い	・ カプセルの中のゴミが一杯になっていませんか。	・ ゴミを捨ててください。
	・ フィルタが目詰まりしていませんか。	・ フィルタをはたくか、水洗いしてください。
	・ バッテリーが消耗していませんか。	・ 充電してください。
動かない	・ バッテリーが消耗していませんか。	・ 充電してください。

注

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理を依頼される場合は、クリーナ本機の他に充電器も一緒にお持ちください。

881B65-1
IWT

株式会社 マキウ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)